

<7領域の概要と内容>

領域	概要	内容
急性期看護	小児から高齢者における急性の経過をたどる患者（児）と家族に関する看護研究	急性期看護における看護技術・用具、病棟と環境、周手術期看護、救急看護、NICU（新生児集中治療室）・MFICU（母体胎児集中治療室）・ICU・CCUに関する看護、クリティカル看護、急性期の状態にある患者（児）の家族への支援、災害看護 など
看護教育	看護基礎教育および看護職の人材育成に関する研究	看護基礎教育及び継続教育等、看護職の人材育成に関する研究、カリキュラム（カリキュラムのあり方・マネジメント・カリキュラム改善・開発）、看護歴史、看護理論、看護教育方法（授業設計・教材活用・開発）、看護技術（看護技術教育・開発）、実習指導（指導体制、実習指導者、実習指導上の問題、効果的な指導方法）、看護教育評価（教育評価用具・評価方法）、看護教員（教員のあり方・資質・能力・意識、教育力）、看護学生（生活実態・学習指導・意識）、学校経営運営と評価、看護におけるユニフィケーション（実態・実践・評価）、キャリア開発（新人看護師教育、キャリア開発プログラム・専門看護師・認定看護師教育、認定看護管理者教育、看護教員、自己教育力）、保健師・助産師・看護師教育、多職種連携教育など
精神看護	小児から高齢者における精神保健および精神疾患看護に関連する研究	すべての人々のメンタルヘルス、コミュニケーション技術の開発、精神障がい者（児）の看護、精神障がい者（児）の家族への支援、認知症の患者とその家族の看護、自殺予防、リエゾン精神看護、地域精神看護、アウトリーチ、精神科早期介入、司法精神看護、精神看護領域の医療事故、患者のQOL、CVP P P（包括的暴力防止プログラム）や認知行動療法などの高度な看護技術開発など
在宅看護	慢性疾病・障害を持ちながら、地域で療養生活している小児から高齢者とその家族および介護者への看護研究	在宅看護における看護技術・用具、在宅療養者の生活環境、在宅療養者のQOL、訪問看護、継続看護、在宅ケア（子ども、難病、障がい者、認知症、がん、高齢者）、在宅療養者の家族への看護、家族介護、介護負担、在宅ケアシステム、在宅ホスピスケア、地域ケアシステム、地域包括ケアシステム、保健・医療・福祉の連携、ケアマネジメント、在宅ケアサービス（子ども、難病、障がい者、認知症、がん、高齢者）、見守り支援、自立支援 など
ヘルスプロモーション	小児から高齢者および母性における健康維持増進や疾病予防、ヘルスケア・システムに関する看護研究	ヘルスプロモーションにおける看護技術・用具・プログラム開発、健康指標の開発、健康と生活環境、ストレス予防と緩和、ライフサイクルと健康課題、健康教育、保健指導、健康診査、地域づくり、地区診断、住民との協働、地域保健活動、保健所・市町村の保健活動、学校保健、産業保健、国際保健、保健行政制度・政策、生涯発達段階別の疾病予防活動・看護（女性の生涯にわたる健康と看護、母性・父性を育む看護、育児支援、子どもの心身の発達と看護、子どもの権利と看護、生活習慣病予防、高齢者の健康維持増進に関する看護、介護予防）、リプロダクティブヘルス、助産・周産期看護、妊娠・出産・育児環境の整備 など
看護管理	看護サービスの提供および組織の経営管理に関する研究	看護管理の役割・機能、保健医療システム、看護提供システム、組織構造、組織規範、組織文化、パワー構造、コミュニケーション、人間関係、リーダーシップ、意思決定、権限委譲、動機付け、組織変革、保健医療政策、医療経済、経営管理、関係法規、職能資格制度、医療安全対策とマネジメント、リスクマネジメント、災害時の管理、チーム医療、多職種・施設間連携、看護サービス管理、業務評価、質改善、人的資源管理、物的・情報管理、患者のQOL、患者満足、職務満足、看護職の健康、労働条件・労働環境、ワークライフバランス、看護制度・政策 など
慢性期看護	小児から高齢者における慢性の経過をたどる患者（児）と家族に関する看護研究	慢性期看護における看護技術・用具、生活習慣の改善、自己管理への援助、長期療養者（児）の看護、障がい者（児）の看護、認知症を伴う者の看護、がん看護、緩和ケア、リハビリテーション看護、障害受容、慢性疾患患者（児）の家族への支援、慢性疾患患者（児）のケア提供システム、退院支援・調整、外来看護、継続看護、介護施設における看護 など